

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	演題名	ライブ 配信	オンデマ ンド配信
招請講演	IL	Sunjoo Kim	Preventive and Protective Measures against COVID-19 in Korea -Especially in the field of laboratory diagnosis	○	○
特別講演1	SL1	館田 一博	COVID-19パンデミック、AMRサイレント・パンデミックから何を学ぶか ～日本臨床微生物学会に求められる責任～	○	○
特別講演2	SL2	長沢 光章	日本臨床微生物学会の歴史と今後の期待	○	○
特別講演3	SL3	菅野 治重	臨床微生物検査の課題と将来展望	○	○
特別講演4	SL4	三嶋 廣繁	遺伝子検査の今後の方向性	○	○
特別講演5	SL5	宮本 仁志	次世代を担う検査技師へのメッセージ -眼科領域の検査と微生物の特徴-	○	○
特別講演6	SL6	賀来 満夫	ワンヘルスの視点からみた感染症危機管理	○	○
第34回日本臨床微生物学会総会 特別企画 「次年度学会に向けて感染症検査の今を知る」	CM-1	渡 智久	臨床検査室における感染症検査の得手・不得手	○	○
	CM-2	相野田 祐介	感染症と非感染性疾患を鑑別するために必要な検査と考え方	○	×
	CM-3	忽那 賢志	知る人ぞ知るダニ媒介感染症	○	○
	CM-4	山元 佳	世界の感染症～日本の医療機関で検査が難しい微生物～	○	○
教育講演1	EL1	石井 良和	臨床検査の国際標準化の重要性	○	○
教育講演2	EL2	山口 哲央	MRSA研究の最前線	○	×
教育講演3	EL3	柴山 恵吾	薬剤耐性菌サーベイランスからみた最近の耐性菌の動向	○	○
教育講演4	EL4	長尾 美紀	COVID-19の検査の変遷と今後の課題	○	○
教育講演5	EL5	菅井 基行	国内で広がるVREの現状	○	×
教育講演6	EL6	笠原 敬	検査の進展がエンビリック治療にどう影響を与えるか	○	○
教育講演7	EL7	山岸 由佳	医療関連感染におけるICT、AST活動と微生物検査室との連携—微生物検査を 臨床検査部門から感染管理部門に組織編制するメリットとデメリットも考える—	○	○
教育講演8	EL8	高橋 聡	梅毒の診断と治療のUp-to-date	○	○
教育講演9	EL9	安田 満	淋菌の耐性化の現状と対策	○	○
教育講演10	EL10	西 順一郎	インフルエンザ菌b型・肺炎球菌ワクチン普及後の課題	○	○
教育講演11	EL11	掛屋 弘	深在性真菌感染症の検査の進展	○	○
教育講演12	EL12	時松 一成	COVID-19 の院内クラスター対応と検査の活用	○	○
教育講演13	EL13	矢野 寿一	海外から流入する可能性が高い耐性菌の特徴と検査面の対応	○	○
教育講演14	EL14	御手洗 聡	結核の現状と検査の進展	○	○
教育講演15	EL15	泉川 公一	わが国におけるBSL4施設の必要性と今後の課題	○	○
教育講演16	EL16	三澤 成毅	臨床微生物検査のあるべき姿 検査室からもっと臨床へ (Bench-to-bedside)	○	○

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	演題名	ライブ 配信	オンデマ ンド配信
教育講演17	EL17	西山 宏幸	感染症診断に必要な臨床微生物迅速診断検査とその役割	○	○
教育講演18	EL18	長谷川 直樹	非結核性抗酸菌症の検査と治療	○	○
教育講演19	EL19	中村 造	院内環境と感染 環境の検査をどう対策に生かすか	○	○
教育講演20	EL20	小松 方	腸管感染症検査ガイドラインのポイント	○	○
教育講演21	EL21	中村 竜也	これからの薬剤耐性菌検査	○	○
教育講演22	EL22	永田 邦昭	感染症診療に活かすグラム染色	○	○
Meet the expert1	ME-1	藤倉 雄二	診療ガイドラインはこうやって作られる-メタアナリシスの実際-	×	○
Meet the expert2	ME-2	中山 麻美	選択鑑別培地を使いこなす	×	○
Meet the expert3	ME-3	荻原 真二	学会発表のプレゼンカ向上	×	○
Meet the expert4	ME-4	山田 景土	新菌種を探せ	×	○
Meet the expert5	ME-5	阿部 教行	理解して行うRGMの薬剤感受性検査	×	○
Meet the expert6	ME-6	橋本 賢勇	微生物に活かす統計学	×	○
Meet the expert7	ME-7	岩崎 澄央	J-SIPHEってどんな感じ	×	○
Meet the expert8	ME-8	大柳 忠智	ディスク法による迅速薬剤感受性検査 RAST	×	○
Meet the expert9	ME-9	太田 浩敏	感染防止対策地域連携から始まった検査技師のレベルアップへの取り組み	×	○
Meet the expert10	ME-10	青柳 哲史	呼吸器感染症 診断と検査の基本	×	○
Meet the expert11	ME-11	米谷 正太	起因菌検出のためのロジカルシンキング	×	○
Meet the expert12	ME-12	太田 悠介	臨床検査への応用を見据えた薬剤耐性の新規検査法開発の試み	×	○
Meet the expert13	ME-13	中村 彰宏	「 <i>Escherichia coli</i> sequence type 131を語る」	×	○
Meet the expert14	ME-14	宇野 俊介	抗酸菌症のバイオマーカー	×	○
Meet the expert15	ME-15	加藤 英明	感染症 診断から対策までの見える化	×	○
Meet the expert16	ME-16	三澤 慶樹	ブドウ球菌を基本から学びなおす	×	○
Meet the expert17	ME-17	尾池 泰典	震災に備えた微生物検査室	×	○
Meet the expert18	ME-18	村上 忍	検査室はどこまで嫌気性菌にアプローチできるか	×	○
Meet the expert19	ME-19	草間 文子	検査の質向上を目指すチームマネジメント	×	○
ベーシックレクチャー1	BL-1	田村 卓	尿路感染症	×	○
ベーシックレクチャー2	BL-2	和田 直樹	髄膜炎	×	○

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	演題名	ライブ 配信	オンデマ ンド配信
ベーシックレクチャー3	BL-3	清祐 麻紀子	壊死性筋膜炎	×	○
ベーシックレクチャー4	BL-4	加地 大樹	敗血症	×	○
ベーシックレクチャー5	BL-5	安達 謙	腸管感染症	×	○
ベーシックレクチャー6	BL-6	田中 洋輔	呼吸器感染症	×	○
特別企画1 「地区別対抗クイズ 微生物・感染症学王はこの地区だ」	-	-	-	○	○
特別企画2 「感染症的よもやま話」	-	-	-	○	×
特別企画3 「嘘を見極める 鵜呑みにしてはならない発表」	SE3	上地 幸平	-	○	○
	SE3	黒川 正美	-	○	×
シンポジウム1 「SARS-CoV2検査の総括とこれから」	SY1-1	丸山 聡	SARS-CoV-2検査の総括とこれから～中小規模病院として～	○	○
	SY1-2	小棚 雅寛	大学病院として	○	○
	SY1-3	志津 夢	新型コロナウイルス遺伝子検査における検査センターの役割	○	○
	SY1-4	藤田 直久	地方衛生研究所としてのコロナ検査（保健所との連携）	○	○
シンポジウム2 「血液培養のコンタミネーション0（ゼロ）を目指して」	SY2-1	伊藤 雄介	コンタミネーションが医療経済と患者と臨床に及ぼす影響	○	○
	SY2-2	八幡 照幸	血液培養コンタミネーション減少の取り組み事例1	○	○
	SY2-3	村上 忍	血液培養コンタミネーション減少の取り組み事例2	○	○
	SY2-4	大塚 喜人	タスクシェアによる検体採取は血液培養の精度をあげる？	○	○
シンポジウム3 「血液培養検査ガイド第2版 改訂のポイント～臨床の現場で生かすには～」	SY3-1	品川 雅明	血液培養検査の目的と必要性	○	○
	SY3-2	大城 健哉	検体の採取法と輸送・保存	○	○
	SY3-3	相原 正宗	同定・感受性検査の現状	○	○
	SY3-4	荒岡 秀樹	薬剤感受性検査と検査データの利用法	○	○
シンポジウム4 「論文発表、学会発表の技術講座」	SY4-1	藤原 美樹	学会発表	○	○
	SY4-2	小松 方	論文の書き方	○	○
	SY4-3	石和田 稔彦	査読者は何を見て、判定しているか	○	○
シンポジウム5 「ポストコロナの遺伝子検査」	SY5-1	青木 弘太郎	現状における感染症関連遺伝子検査(病原体核酸検査)の総論	○	○
	SY5-2	伏脇 猛司	抗酸菌領域における遺伝子検査の進歩と活用について	○	○
	SY5-3	野竹 重幸	POCT型遺伝子検査の進歩と活用について	○	○
	SY5-4	橋本 英樹	全自動遺伝子検査を活用した重症感染症診療の実際	○	○

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	演題名	ライブ 配信	オンデマ ンド配信
シンポジウム6 「薬剤耐性菌検査アップデート～わたしたちはこうしている～」	SY6-1	木村 圭吾	グラム陽性球菌の薬剤耐性菌検査	○	○
	SY6-2	上地 幸平	グラム陰性桿菌の薬剤耐性菌検査 ～ Carbapenemase 産生菌を中心に ～	○	○
	SY6-3	木下 愛	Fastidious bacteria の薬剤耐性菌検査	○	○
	SY6-4	西村 翔	ICT/AST における薬剤耐性菌検査結果の活用法	○	○
シンポジウム7 「感染症診断の新しい技術」	SY7-1	柴多 渉	PCR/ 核酸クロマトグラフィー法を用いた血流感染症の診断	○	○
	SY7-2	川元 康嗣	赤外分光法を応用した薬剤耐性菌のタイピング	○	○
	SY7-3	栗山 直英	敗血症診療におけるマイクロRNA測定の可能性	○	○
	SY7-4	駒木-安田 加奈子	フローサイトメトリー法による新規マalaria診断法	○	○
シンポジウム8 「細菌検査結果をもっと活かそう」	SY8-1	八幡 照幸	市中病院における細菌検査結果の報告の工夫	○	○
	SY8-2	長南 正佳	大学病院における細菌検査結果の報告の工夫	○	○
	SY8-3	黒田 浩一	感染症基幹施設における細菌検査結果の活かし方	○	○
	SY8-4	橋本 英樹	東大病院における微生物検査室と臨床の連携	○	○
シンポジウム9 「性感染症診療の現状と課題-検査は適切に活用されているのか-」	SY9-1	水島 大輔	Sexual healthと直腸淋菌・クラミジア感染の診断	○	○
	SY9-2	安田 満	尿道炎：非クラミジア性非淋菌性尿道炎の診断も含めて	○	○
	SY9-3	保科 斉生	赤痢アメーバなどの腸管感染症：検鏡の所見も含めて	○	○
	SY9-4	吉澤 定子	結果の解釈における注意点（梅毒のプロゾン現象や自動化法など）	○	○
シンポジウム10 「経時的なグラム染色は治療方針に貢献するのか」	SY10-1	池町 真実	グラム染色はいつ染めるか？～グラム染色のタイミングと医師が求めることを紐解く～	○	○
	SY10-2	丹野 大樹	グラム染色七変化～治療がグラム染色像に与える影響～	○	○
	SY10-3	太田 賢治	経時的なグラム染色は治療に貢献するか～治療に貢献するために報告すべきこと～	○	○
シンポジウム11 「微生物検査から地域連携に貢献する～感染対策向上加算における私たちの施設の工夫」	SY11-1	東 桃代	微生物検査から地域連携に貢献する ～感染対策向上加算における私たちの施設の工夫 徳島大学病院より～	○	○
	SY11-2	岩本 久美	感染対策向上加算における微生物検査室の取組み	○	○
	SY11-3	加賀 知佐子	微生物検査室がない施設での取組み	○	×
	SY11-4	四宮 聡	地域連携加算において微生物検査室に期待すること	○	○
シンポジウム12 「抗体検査はこう使いこなす！」	SY12-1	吉川 哲史	ウイルス感染症の抗体検査はこう生かす	○	○
	SY12-2	城戸 康年	新型コロナウイルス感染症に対する免疫応答から理解する血清学的診断	○	○
	SY12-3	山藤 栄一郎	リケッチア症の抗体検査はこう活かす！	○	○
	SY12-4	丸山 治彦	寄生虫免疫診断はこう活かす！	○	○

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	演題名	ライブ 配信	オンデマ ンド配信
シンポジウム13 「微生物検査の写真を上手に撮影するコツ教えます」	SY13-1	忽那 賢志	臨床写真の重要性について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY13-2	佐々木 雅一	細菌の美しい写真の撮り方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY13-3	榎村 浩一	美しい真菌写真の撮り方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY13-4	山本 剛	塗抹検査の美しい撮り方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
シンポジウム14 「NICUでMRSAアウトブレイクが起きた！ さあ どうする？」	SY14-1	大城 誠	小児科医の立場から NICUにおけるMRSA感染制御の困難さ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY14-2	加藤 英明	原因究明の立場から 遺伝子検査の活用 <POT法とSCCmec型により感染経路が推定された一例>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY14-3	石川 かおり	遺伝子機器を用いない感染制御 ～MRSA院内発生リスク因子に基づくアウトブレイク対策～	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY14-4	星野 直	ICTの立場から	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY14-5	安部 朋子	NICU において MRSA の監視培養はどこまで必要か？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
シンポジウム15 「賢く行うAST」	SY15-1	本田 仁	院内で行う抗菌薬適正使用プログラムを賢く行う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY15-2	日馬 由貴	外来におけるASTについて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY15-3	大竹 正悟	小児におけるAST	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY15-4	安達 譲	臨床検査技師としてASTに貢献できるどころ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
シンポジウム16 「非結核性抗酸菌検査におけるモヤモヤを解決！曖昧さを明らかにしよう」	SY16-1	山本 剛	前処理はいつも必要か？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY16-2	大石 貴幸	使用する培地と培養期間、温度は適切か？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY16-3	吉田 志緒美	最初に分離された菌株の同定と薬剤感受性試験はどこまでやるか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY16-4	森本 耕三	MIC値（薬剤感受性の結果）と治療効果は相関するのか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
シンポジウム17 「Nocardia症の現状とピットフォール」	SY17-1	豊川 真弘	近年のNocardia 症の疫学	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY17-2	田頭 保彰	Nocardia 症の臨床的特徴と予後	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY17-3	矢口 貴志	Nocardia 症原因菌の同定・感受性検査	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SY17-4	関谷 紀貴	高リスク患者におけるNocardia 症診療のピットフォール	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パネルディスカッション1 「微生物検査室の存在価値を高めるポイント～魅せる対応とは～」	PD1-1	小阪 直史	薬剤師が微生物検査室に求めるNeedsとWantsを考える	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	PD1-2	細川 直登	臨床医が“魅せられる”検査室とは	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD1-3	清祐 麻紀子	コメンテーター	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD1-4	原 祐樹	コメンテーター	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD1-5	米谷 正太	コメンテーター	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD1-6	笠原 敬	コメンテーター	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	演題名	ライブ 配信	オンデマ ンド配信
パネルディスカッション2 「臨床検査技師の未来像 病棟出張による感染症診療への貢献」	PD2-1	服部 拓哉	実践できていない立場から考える臨床検査技師の病棟出張	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD2-2	木部 泰志	「たまたま病棟へ行く施設」が考える病棟出張の意義と課題	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD2-3	山本 剛	実際に病棟で活躍している検査技師による事例紹介	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD2-4	岸田 直樹	医師の立場から、病棟出張はじめの一歩 ー病棟出張する臨床検査技師に必要なものー	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パネルディスカッション3 「培養検査の適正化を推進するには！？ ～効果的かつ効率的な培養検査とは～」	PD3-1	宮城 ちひろ	無駄な培養検査をなくすには	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD3-2	藤田 佳奈	検体や症例に応じた培養検査の実施	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD3-3	野手 健司	迅速な抗菌薬適正使用につながる培養検査	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD3-4	上地 あゆみ	血液培養検査における薬剤感受性検査の迅速報告について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パネルディスカッション4 「匠の技 ～手を動かす職人検査を極める～」	PD4-1	大城 健哉	血液培養の用手的職人テクニク	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD4-2	鷺尾 洋平	菌種推定の用手的職人テクニク	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD4-3	長南 正佳	嫌気性菌検査の用手的職人テクニク	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD4-4	田澤 庸子	真菌検査の用手的職人テクニク	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パネルディスカッション5 「ゲノム解析を身近に 一次世代シーケンサー（NGS）のデータ解析術・活用術ー」	PD5-1	嵯峨 知生	NGSの概要とゲノムデータから分かること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD5-2	山田 景土	ゲノムデータを用いた菌種同定法	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	PD5-3	松村 康史	ゲノムデータを用いた耐性遺伝子の解析法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	PD5-4	賀来 敬仁	メタゲノム解析の感染症診断への応用とその課題	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医師を感激させた微生物検査 ver.8	MS-1	名取 達矢	コッポに導かれて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		松本 剛	コッポに導かれて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	MS-2	藤原 辰也	微生物検査技師の一言が抗菌薬選択に自信を与えてくれた一例	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		木村 圭吾	微生物検査技師の一言が抗菌薬選択に自信を与えてくれた一例	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ワークショップ1 「どうする？ 腸管感染症検査」	WS1-1	木村 圭吾	効果的な日常検査の組み立て方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	WS1-2	大楠 清文	下痢症の遺伝子検査実践、どこまで有用？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	WS1-3	三澤 成毅	精度管理はどこまで実施すべきか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	WS1-4	豊川 真弘	抗菌薬関連下痢症検査、さて、どうする？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	WS1-5	永田 邦昭	塗抹検査、侮れない！	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	WS1-6	口広 智一	用手法はどこまで残す？（分離培養、用手同定）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	演題名	ライブ 配信	オンデマ ンド配信
ワークショップ2 「細菌検査の標準化を考える」	WS2-1	三澤 成毅	なにが「標準化」できるのか？なにを「標準化」すべきか？	○	○
	WS2-2	鷲尾 洋平	提出された検体からグラム染色の標準化アプローチ	○	○
	WS2-3	加地 大樹	培養、感受性、の標準化に切り込む	○	○
	WS2-4	渋江 寧	医師の観点から、報告フォーマットの標準化を考える	○	○
教育シンポジウム 「肺炎球菌感染症の現状と予防を考える」	ESY-1	宮崎 治子	血清型からみた肺炎球菌感染症の最近の動向	○	○
	ESY-2	富樫 真弓	肺炎球菌感染症の迅速かつ精度の高い検査法	○	○
	ESY-3	中村 茂樹	ワクチンによる免疫獲得の重要性	○	○
	ESY-4	塚田 敬子	今後のワクチン接種を進めるうえでの課題	○	○
	-	松本 哲哉	特別発言	○	○
日韓合同シンポジウム 「Updated Laboratory/Antimicrobial Stewardship in Korea and Japan」	JKS1-1	Hyukmin LEE	Current status of diagnostic stewardship in the field of clinical microbiology in Korea	○	○
	JKS1-2	Seongman Bae	Current status of antibiotic stewardship program in Korea	○	○
	JKS1-3	石和田 稔彦	Updated laboratory/antimicrobial stewardship for pediatric infections in Japan	○	○
	JKS1-4	八木 哲也	Diagnostic/antimicrobial stewardship in Nagoya University Hospital.	○	○
日韓合同微生物検査シンポジウム 「日本と韓国における血液培養検査のDiagnostic Stewardshipについて」	JKS2-1	SeEun Jeon	Analysis of Blood Culture Data at 3 Tertiary Hospitals in 2021.	○	×
	JKS2-2	大城 健哉	日本における血液培養検査の実施状況とDiagnostic Stewardship取り組み事例	○	○
日本小児感染症学会と日本臨床微生物学会のコラボレーションセミナー 「覗いてみよう小児の感染症診療現場！“症例で共有する思考プロセス”」	-	-	-	○	○
日本医真菌学会との合同企画 「真菌検査を日常業務にもっと取り入れよう」	JMP-1	矢口 貴志	糸状菌の形態的同定のコツ・同定できる菌種は？	○	○
	JMP-2	石垣 しのぶ	酵母の酵素基質培地による鑑別の注意点	○	○
	JMP-3	渡邊 正治	できます。酵母の感受性検査	○	○
	JMP-4	萩原 繁広	質量分析による真菌同定の現状	○	○
ポストコロナ検査機器活用委員会企画 「ポストコロナ遺伝子検査機器の有効利用と今後の課題」	PCC-1	赤松 紀彦	ポストコロナ遺伝子検査機器の特徴と利用法	○	○
	PCC-2	口広 智一	ポストコロナ遺伝子検査機器の活用・運用例	○	○
	PCC-3	石井 良和	病原体核酸検査の精度管理	○	×
	PCC-4	森永 芳智	核酸検査のための人材育成と教育	○	○
精度管理委員会 「臨床微生物学会が行う精度管理事業」	QC-1	青木 弘太郎	薬剤耐性菌サーベイランス事業報告	○	×
	QC-2	御手洗 聡	抗酸菌検査におけるアンケート調査結果報告	○	○
	QC-3	中村 竜也	SARS-CoV-2 遺伝子検査の精度管理	○	×

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	演題名	ライブ 配信	オンデマ ンド配信
国際委員会企画 「CLSI会議の最新情報」	ICP	大楠 清文	CLSI会議の最新情報	○	○
認定医制度委員会 「臨床微生物検査における医師の役割」	BC-1	上原 由紀	担当医が実施するグラム染色と臨床微生物認定医の役割	○	○
	BC-2	鈴木 広道	臨床微生物検査における医師の役割②	○	○
	BC-3	荒岡 秀樹	パネリスト	○	○
	BC-4	泉川 公一	パネリスト	○	○
	BC-5	八木 哲也	パネリスト	○	○
三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告	3CSR-1	和田 耕一郎	第12回三学会合同抗菌薬感受性サーベイランスの結果報告 -単純性膀胱炎 2020年-	○	○
	3CSR-2	高橋 聡	複雑性尿路感染症	○	○
	3CSR-3	安田 満	2021年尿道炎(淋菌)	○	○
2022年度認定臨床微生物検査技師CMTCM・ICMT合同講習会 「次の新興・再興感染症の流行に備えて：COVID-19流行を契機に進化した 病原診断技術・装置の利活用、検査部門運営の強化」	ICMT-1	黒川 正美	SARS-CoV-2診断的検査用に導入した遺伝子検査装置の利活用	○	×
	ICMT-2	舟橋 恵二	COVID-19流行拡大期における臨床検査部門のBCP	○	○
	ICMT-2	市村 直也	COVID-19流行拡大期における臨床検査部門のBCP	○	○
	ICMT-3	河内 誠	検査部門の運営強化のもとになる人材育成・卒後教育	○	○
	-	三澤 成毅	挨拶	○	○
	-	村上 日奈子	総括	○	○